

社会福祉法人矢祭福祉会 軽費老人ホームケアハウス せせらぎ荘 様



安定・高速通信可能な無線LANアクセスポイントで
施設内全体をカバーするWi-Fi環境を構築

目的・課題

業務効率向上

業種

医療・福祉関連

導入商品

Wi-Fi
(無線LAN)

入居者の面会や医師の診察のオンライン対応を目的に
法人向け無線LANアクセスポイントで全居室に安定したWi-Fi環境を構築



導入先プロフィール(2022年11月現在)

施設名 社会福祉法人矢祭福祉会
軽費老人ホームケアハウスせせらぎ荘
所在地 〒963-5118
福島県東白川郡矢祭町大字東館字蔵屋敷122
URL <http://www.yu-ai.org/info/seseragi.html>

福島県東白川郡の社会福祉法人矢祭福祉会 軽費老人ホームケアハウスせせらぎ荘(以下、せせらぎ荘)は、豊かな自然に囲まれた環境で介護サービスを提供しています。全居室は一人部屋または夫婦部屋の個室になっており、プライバシーを尊重した生活空間を確保しています。その居室や集会室に安定したWi-Fi環境を構築し、オンラインでの面会や診療を可能にしました。株式会社共栄ブレーンが導入のサポートをし、株式会社バッファロー・ITソリューションズ(以下、BITS)が現地での電波調査、機器選定、設計、施工、キittingまでを担当しました。

課題

施設内で快適に使える
Wi-Fi整備が必要

- 対面での面会に制限 ▶ オンライン面会を始めたい
- オンライン診療への対応 ▶ 居室で使えるWi-Fiが必要
- オンライン研修会への対応 ▶ 安定した通信環境が必要

対策

法人向け無線LANアクセスポイントを利用して
施設全域で安定してつながるWi-Fiを整備

効果

入居者満足度向上と
職員のスキルアップ

- 施設内に広がるWi-Fi環境 ▶ 入居者サービスが向上
- 法人向け商品で安定した通信 ▶ 医師との連携ができる
- 高速通信のWi-Fi環境 ▶ オンライン面会・研修が快適に

選定の
ポイント

バッファローの法人向け無線LANアクセスポイントなら
広範囲で安定してつながるWi-Fi整備が可能

お客様インタビュー

法人向け無線LANアクセスポイントで施設全域で使えるWi-Fi環境を構築。 業務用タブレットを入居者サービス向上、職員のオンライン研修に活用

概要

- 施設内に快適なWi-Fi環境を整備
- 入居者サービスの基盤を強化

安定してつながるWi-Fi環境の整備を実現

せせらぎ荘はコロナ禍による入居者と家族の面会機会の喪失を補うため、オンライン面会に使用する業務用タブレットを導入。以前は事務室だけだったネットワーク環境を見直し、全居室と集会室で安定してつながるWi-Fi環境を構築しました。

ICT活用による良い連鎖が加速

居室からタブレットを用いたオンライン診療が可能になり、思わぬけがや体調の変化が起こった場合でも落ち着いて対応できるようになりました。それまではなかなか参加できなかった研修会へも、オンライン参加が可能になったことで職員の能力向上にも役立っています。また、レクリエーションでも利用できるようになり、積極的な参加が増えました。さらに今後は、タブレットによるケア記録や情報管理も行いたいと考えています。

目標・課題

- コロナ禍で直接面会が制限
- 回診日以外でも医師へ相談したい

オンライン面会のためのWi-Fi整備をしたい

コロナ禍以前は入居者との面会は自由に行われていました。家族が居室に宿泊することも可能で、頻繁に足を運び家族の姿もありました。しかし、コロナ感染症の拡大以降はまったく面会ができない状態になりました。入居者からも家族からも「電話だけではなく、顔が見たい」という声があがりましたが、オンライン面会ができるネットワーク環境があるのは事務室のみでした。

施設内に安定した通信環境の整備が必要

嘱託医が2週間に1度の回診に訪れていますが、思わぬけがや体調不良になることは避けられません。そうした場合に、電話で入居者の状態を医師へ的確に説明することは困難でした。患者の様子を撮影した画像や動画を送信できれば、よりスムーズな診療ができると感じていました。

解決策

- 広範囲なWi-Fiを構築できる機器選定
- 工事リソースもメーカーが手配

施設全域でつながるWi-Fi整備

Wi-Fi整備にあたっては株式会社共栄ブレーンがサポートし、広範囲で安定したWi-Fiを構築可能な「WAPM-1266R」を選定。Wi-Fi以外の電波干渉を回避する「干渉波自動回避機能」搭載のほか、遠隔モニター用力カメラの導入など今後の変化にも柔軟に対応できる性能の高さを評価しました。

電源工事費の削減ができる機器選定

PoE給電が可能な「BS-GS2016P」は、アクセスポイントが電源取得場所から離れていても新たな電源工事が不要で、工事費削減・工期短縮が可能。施工は、バッファローが手配したグループ会社のBITSが担当しました。



適度な間隔で「WAPM-1266R」を配置し、施設内全域に安定したWi-Fiを提供

効果

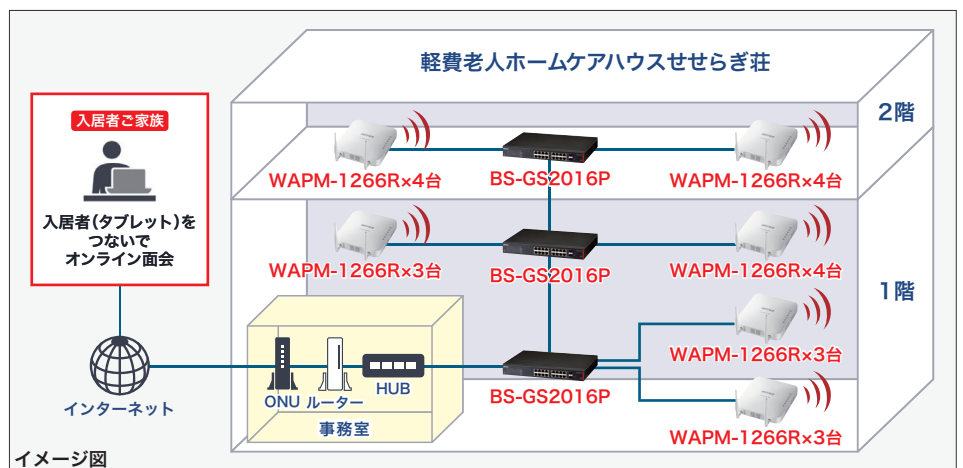
- 入居者と家族の満足度が向上
- 介護現場でのWi-Fi活用に期待

入居者と家族の距離が縮まった

Wi-Fi整備後、入居者へタブレットを使った家族とのチャット利用の提供を始めました。社会福祉法人矢祭福祉会 軽費老人ホームケアハウスせせらぎ荘の寺島 久美氏は「特別な行事だけでなく、散髪など何気ない日常の変化を気軽に報告でき、連絡の頻度が増えました。」と話します。

職員のスキルアップにも貢献

タブレットによるオンライン診療が可能になったほか、職員のオンライン研修会参加の機会が増えました。移動時間を含めると一日がかりになるため、今までは諦めていた研修会も参加可能に。年に1～2回が、月に1～2回の参加頻度になり、交通費の負担も軽くなりました。タブレットはケア記録用のデバイスとしても活用を予定。持ち歩いて日誌の即時入力や、必要な情報をその場で確認するなど、業務効率改善に期待されています。



広範囲で安定してつながるWi-Fi整備ができる無線LANアクセスポイント「WAPM-1266R」を選定。PoE給電が可能な「BS-GS2016P」の採用により、Wi-Fi機器用の電源工事が不要に。

●取材協力：株式会社共栄ブレーン

導入商品



5年保証※
11ac/n/a & 11n/g/b
DFS障害回避機能搭載
法人向け無線LANアクセスポイント

WAPM-1266R



5年保証※
PoEスマートスイッチ
16ポートモデル
IEEE 802.3at対応

BS-GS2016P

※標準保証3年間、Web上の5年保証登録により2年延長